

1M23N17461

この度は弊社 FASST-2.4GHz システム対応受信機 R6303SB をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。この R6303SB には S.BUS システム用の出力ポートおよび従来システム用のチャンネル出力 (CH1-3) が搭載されています。S.BUS システム対応のサーボやジャイロ等の他、従来システムのサーボ等も併用することが可能です。

また、CH 切替機能が付き、ポート 1、2 の出力 CH を 7 グループから選択できます。

さらに、送信機とのリンク操作時、FASST-2.4GHz 方式 7ch または 8ch/10ch/Multi-ch モードの信号を自動判別します。その他、ハイスピードモード (高速応答動作モード) を選択できます。

ハイスピードモード使用時の注意 (従来出力)

△注意

⊘ ハイスピードモード使用時、従来システム用のポート 1、2 および 3 CH 出力には、アナログサーボは使用できません。

■ アナログサーボを使用するとサーボ故障の原因となります。弊社製デジタルサーボ (ブラシレスサーボを含む) または S.BUS サーボを使用してください。

■ アナログサーボはノーマルモードでご使用ください。

※ 弊社製以外の EP アンプをご使用の場合、ハイスピードモードで動作しない場合があります。この場合は、ノーマルモードに切り替えてご使用ください。

●この受信機は FASST 方式 7ch または Multi-ch (8ch/10ch 含) モードの送信機およびモジュールに対応します。

アンテナ搭載時の注意

△警告

ⓘ 2 つのアンテナ (先端 30mm) がお互いに 90 度の位置関係になるように搭載する。

■ R6303SB の 2 つのアンテナはダイバシティアンテナを構成し、受信状態の良いアンテナの信号が自動的に選択されます。

カーボン胴体機に使用時の注意

△警告

ⓘ アンテナ部分 (先端 30mm) は完全に機体の外側に出すこと。

■ 外側に出したアンテナ部がフライト中に風圧等で機体内部に戻らないよう注意すること。

使用電源について

定格 4.0V 以下の電源の使用はお薦めできません。やむを得ずこのような低電圧の電源を使用する際は以下の点に留意してください。

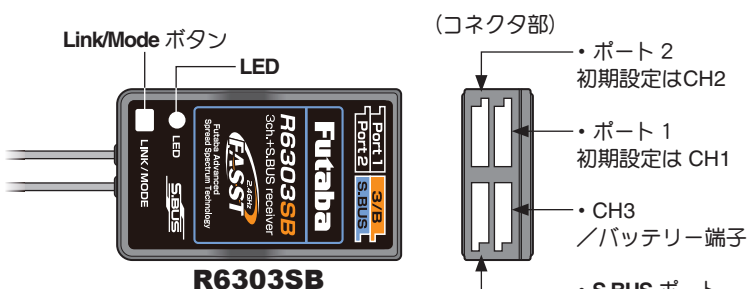
■ フェールセーフ機能は OFF にする。さもないと、バッテリーフェールセーフ機能が働いてしまい、通常飛行の妨げになります。

■ 飛行前にアンプやサーボを最大負荷状態にしたときでも受信機が正常に動作していることを確認してください。受信機は 3.5V 以下になると正常に動作できなくなります。従って、この確認は非常に重要です。

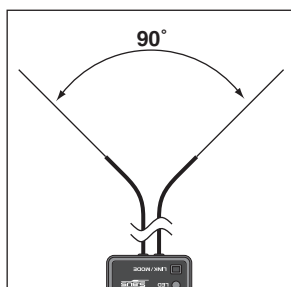
■ アンプやサーボがこのような低電圧でも正常に動作することを確認してください。

■ 受信機用バッテリーは「3/B」以外のコネクタにも接続可能です。

また、サーボの定格を超えない電源を使用してください。



(アンテナ搭載角度)



受信機 LED 表示

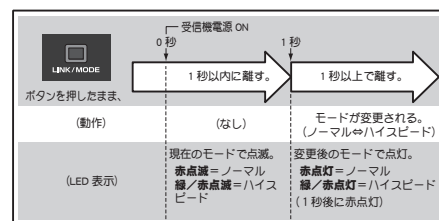
緑色	赤色	状態
点灯	点灯	初期化中 (ハイスピードモード時)
消灯	点灯	無信号時
点灯	消灯	通常動作時
点滅	消灯	受信信号の ID が不一致
交互点滅		エラー表示。 電源再投入で回復できない場合は弊社カスタマーサービスセンターへ点検・修理依頼してください。

ハイスピードモード / ノーマルモードの変更

ハイスピードモードまたはノーマルモードへの変更は下記の方法で行ってください。(初期設定はノーマルモード)

- 1 受信機電源を OFF にします。
- 2 Link/Mode ボタンを押した状態で、受信機電源を ON にします。その後、Link/Mode ボタンは 1 秒以上保持します。(LED が現在のモードで点滅します)
- 3 ボタンを離します。
- 4 受信機電源を OFF にします。

※ 上記の操作でハイスピードモードとノーマルモードを交互に切り替えることができます。



【動作モードの確認】

受信機側のみ電源を ON にして、LED で動作モードを確認することができます。

- ※ 受信機電源 ON 後 :
・赤点灯の場合はノーマルモード
・緑/赤ともに点灯 (2 秒後に赤点灯) の場合はハイスピードモード

※ 周囲で FASST-2.4GHz 送信機が使用されていない状況で確認してください。周囲で FASST-2.4GHz 送信機が使用されている場合、上記のように一瞬点灯後、直ちに通常の状態表示に切り替わり、判別が困難です。

【R6303SB 受信機仕様】

FASST-2.4GHz 方式 (7ch/8ch/10ch/Multi-ch モード) 対応、S.BUS 出力 + 従来システム用出力 (CH1-3)

- ・アンテナ : ダイバシティ方式
- ・サイズ / 重量 : 22.5x37.4x9.3mm / 7.2g
- ・使用電源 : 3.7 ~ 7.4V (使用可能電圧範囲 : 3.5 ~ 8.4V)

※ BEC 電源を使用する場合、容量がご使用のサーボ等の条件に合っていることが必要です。また、乾電池は使用しないでください。誤動作の原因となります。

※ バッテリー F/S 電圧は 4 セルニッケド / ニッケル水素バッテリー用に設定されています。その他バッテリーを使用する場合、バッテリー F/S 機能は適正に動作しません。

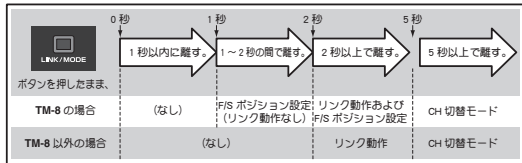
※ F/S 機能は、Multi-ch モード時、全チャンネル設定可能。ただし、送信機側の機能により異なります。7ch モード時は 3 チャンネル目のみ設定可能。

※ S.BUS 出力は、7ch モード時、最大 7ch 迄対応。8ch/10ch/Multi-ch モード時、最大 16ch + DG1/2ch 迄対応。ただし、使用可能チャンネル数は送信機により異なります。

リンク操作

Link/Mode ボタンによりリンク操作を行います。

また、TM-8 モジュールを使用時、F/S ポジション (3CHのみ) の設定が可能です。



※リンク操作時、送信機の FASST-2.4GHz モード (7ch または Multi-ch モード) を自動判別します。

※リンク操作、F/S ポジション設定方法等の詳細は、ご使用の送信機またはモジュールの取扱説明書をご覧ください。

※リンクボタンを5秒以上押しとCH切替モードにはいってしまいます。それ以前にボタンを離してください。

警告

⊘ リンク操作時は動力用モーターが接続された状態やエンジンがかかった状態では行わない。

■ 不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上がったりますと大変危険です。

❗ リンク操作が完了したら、一旦受信機の電源を入れ直し、リンクした送信機で操作ができることを確認する。

CH 切替モード

Link/Mode ボタンにより CH 切替を行います。

ポート 1、ポート 2 の出力 CH を 7 グループから選択できます。

- 1 受信機電源を ON にします。LED が赤点灯もしくは緑点滅していることを確認します。(送信機は OFF)
- 2 Link/Mode ボタンを 5 秒以上長押しします。
- 3 LED が赤 / 緑同時点滅になったらボタンを離します。
- 4 CH 切替モードになり、現状のグループの LED 点滅になります。(初期設定はグループ 1) ※ CH を確定しないとこのモードから抜け出せません。
- 5 Link/Mode ボタンを押すたびにグループ 1 → グループ 2 → グループ 3 ... グループ 9 → グループ 1 と変わっていきます。グループは次表の LED 点滅で確認します。
- 6 変更したいグループの LED 点滅状態になったら Link/Mode ボタンを 2 秒以上長押しします。
- 7 LED が赤 / 緑同時点滅になったらボタンを離します。1 秒間 LED が赤 / 緑同時点灯となりグループが確定します。
- 8 CH 切替が完了したら電源を入れ直し CH が切り替わったことを確認してください。

※リンク済みの送信機の電源が ON になり受信開始するとチャンネル切替モードには入りません。

チャンネル切替グループ表

CH グループ	LED 点滅	ポート 1 出力	ポート 2 出力
グループ 1	赤 1 回	CH1	CH2
グループ 2	赤 2 回	CH1	CH4
グループ 3	赤 3 回	CH2	CH4
グループ 4	緑 1 回	CH1	CH5
グループ 5	緑 2 回	CH2	CH7
グループ 6	緑 3 回	CH4	CH8
グループ 7	赤 / 緑 1 回	CH11	CH12
グループ 8	赤 / 緑 2 回	使用しません	使用しません
グループ 9	赤 / 緑 3 回	使用しません	使用しません

※グループ 8、9 は特殊なモードのため通常は使用しません。

※ 7ch モードでは 8CH 以上のチャンネルは制御できません。

※ 3CH および S.BUS はどのグループでも出力します。

GYA430,431,CGY750 を使用する場合

S.BUS ジャイロの種類によってグループを下表のように変更するとポート出力を有効に使用することができます。各ジャイロで制御される CH のサーボは受信機ではなく S.BUS ジャイロに接続します。

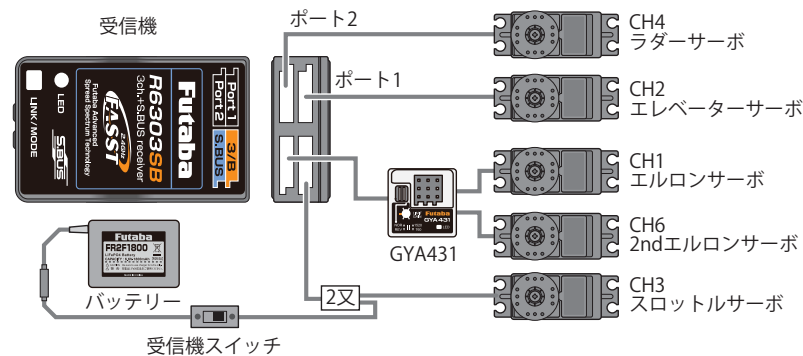
※詳しくは各ジャイロの説明書をご参照ください。

S.BUS 対応ジャイロ別グループ表

S.BUS 対応ジャイロで制御する CH	CH グループ
ラダー	グループ 1
エレベーター	グループ 2
エルロン	グループ 3
エレベーター + ラダー	グループ 4
エルロン + ラダー	グループ 5
エルロン + エレベーター	グループ 6
エルロン + エレベーター + ラダー または CGY750	グループ 7

[GYA431グループ3の接続例]

(飛行機のエルロンにジャイロを使用)



● S.BUS システムをお使いの場合

※ S.BUS サーボを S.BUS 出力に接続する場合、チャンネル設定が必要です。この場合、チャンネル設定機器 SBC-1 または S.BUS チャンネル設定ができる対応受信機を使用して S.BUS サーボにチャンネル設定します。例えば、S.BUS サーボに CH2 を設定した場合、従来システム用出力の CH2 と同じ動作となります。

※ S.BUS 使用時は必ず送信機の電源を ON にしてから受信機の電源を ON にして、正常に操作できることを確認してからご使用ください。また、受信機電源が ON の状態で S.BUS サーボのコネクターを抜き差ししないでください。

※ R6303SB 受信機の場合 S.BUS サーボと従来のサーボとの併用も可能です。ただし、S.BUS 出力端子には従来サーボは接続できません。

※ S.BUS サーボを別電源で使用する場合は、S.BUS 延長コード (2 分岐 / 別電源用) を使用します。接続方法は延長コードに付属の取扱説明書をご参照ください。